第百七十二號

NAMBEI SHUHO

10 de Fevereiro de 1938

Sr. Seichu Guiziku
R. Garvão Bueno – 409
Capital

サンパウロ 義塾様

C42Z

週刊南米

サンパウロ市ビスレーダ
モツタ 三八一番地
發行所 南米新報社
購讀料 一年 二三ミル
廣告料 一段 六〇ミル

清 東麒麟
東鳳
GOTO & CIA
Caixa 528-S.PAULO

言論

童心に培ふ此の氣魄

我慢せえ俺達は日本人だぞ

△

過ぐる日、炎天の午后聖市郊外路傍に於ける出來事、學校歸りの同胞兒童兄弟二人が、外人の子供夫れも自分らよりも五體の大きい男坊主から、いきなり砂を目に投げつけられました、勝氣な弟の方は兩眼をこすりながら泣き出しそうな顔をして、相手につかみ掛らうとする、その手をシッカリつかまへて十二、三歳位になる兄の方が

『俺達は日本人だぞー、バカを相手にするな、我慢せえ……』

と、怒つて居る弟を無理に連れ去らうとしました。

日本語の解らない外人の子供らは、意氣地なく逃げると見てか今度は弟の方の頰ぺたを力まかせに兩手でひつぱたきました、痛さと腹立たしさに大聲を揚げて泣き出した弟を、叱るやうにたしなめて

『バカッ！

日本人が之れ位のことで泣いてどうする

俺達はチャンコロと違ふぞ、一度位た、かれても我慢するんだ、さあ相手にせず行かう……』

と又も泣き入る弟を引きずるやうにして立去りかけたのを、シッこくも口々に罵りながら外人の子供らは其の跡を追つかけて行く、日本人はどこまでも反抗しないと思つてゐるらしい、と後ろから弟の兩足をすくつたから堪らない、いやと云ふ程顔を大地に打ちつけられました、然るに、その弟が起き上るのと外人の子供が兄の方に突き飛ばされたのと殆んど同時でした。

△

それまでバカにし切つてゐた日本人の子供から突き飛ばされたので、怒り狂つて、つかみ掛かる、それを二三度突き飛ばしたので、もう起き上る勇氣もなく大聲で泣き出した外人の子供を尻目に悠々と弟の手を引きながら二人は其場を立ち去つて行きました。

出來事は單に子供同士の喧嘩で採るに足らぬと言つて仕舞へばそれまでです、併しながら、その僅か五分間位に起つたこの小さな出來事ではあるが、制するのも忘れて之れを眺めて居た筆者には、胸の奥底から、何んとも云へぬ力強い感謝の念が涙と、もに湧いたのであります。

△

申すまでも無く、凡そ眞理といふものは唯だむづかしい書物や、いかめしい學者の研究室の中からのみ發見されるものではない、我等が以て何んでもない事だとして、多くの場合看過する日常生活の平凡裡に意外な大眞理を自得するものだと云ふ事を、つく〳〵感じさせられたので有ります、即ち、我々が常に前途を憂慮してゐる在伯同胞第二世の間に、たま〳〵、斯かる根強い日本男兒の『魂』の發露を眼のあたりに見た喜びは、筆者の爲めには正に、其の昔林檎が樹から落下するを見て宇宙引力を發見したるニユートンや、鉄瓶の湯氣を觀て俄然蒸氣力を大悟したワツトの喜びにも倍し猶大きいものが有ります、殊に現下非常國難に際し、遙に皇軍の武運長久ならむことを祈る我々は、や、もすれば第二世に忘れられ勝ちな日本精神の强調こそ誠とに今日、何よりの急務なりと痛感するに於ておやであります。

△

思ふに、この兄弟の魂こそ日本現在の立場を如實に物語るものであります、勿論、受持教師の訓董、兩親の訓育その宜ろしきを得たるが爲めでありませうが、孰れにせよ、我が第二世の中にも斯ういふシツカリした代表的日本精神の持主が生れて居ることは、實に愉快ではありませんか。

△

次に之れは母國での出來事でありますが去月五日陸軍省へ山口縣の一小學生から『年をとつたお父さんの代りに僕を從軍させて下さい』といふ從軍志願の手紙が到着して係官を感激させてゐると云ふ、この少年は山口縣能毛郡岩田村岩田小學校高等科一年生國本得三と稱する少年で手紙には次のやうに書いてあつたと云ふことです。

拜啓、この非常時にあたりまして役人樣を初め戰場で御國のために働いて下さいます將兵樣の御苦心はなみ〳〵ではありません、僕は日本魂をもつて暴虐の支那兵を打ちこらしつ、彈丸の中や寒さの中を進軍せられまして御戰死なさいました將兵樣の仇を討つ覺悟です、

また僕の父は戰場に出たいといつてをりますがもう年をとつてゐますので戰場に出ても働けませんのでどうか僕を父の代りに働かせて下さい、僕の體格は左の通りです、身長一米五六センチ、体重五八キロ、胸圍八五センチ、概評甲、榮養甲、脊柱正です、僕は鐵砲を使ふことも知つてをります

云々

△

純眞な童心に宿る此の魂はやがて次代の祖國を双肩に荷ひ、世界平和の爲めに貢献せむとするものであり末頼母しき限りではありませんか『俺達はチャンコロと違ふぞ』と叫んだ聖市郊外の子供と、『御戰死なさいました將兵樣の仇を討つ覺悟』をした山口の少年、その心がけ、その氣魄こそ我々がたとひ幾萬里遠く祖國を、或は永久に日本を離れても必ず第二世より第三世、更に永遠の未來へ傳ふべき『我等の至寶ー生命』で無ければならぬと確信し爰に初めて大和民族の海外發展と云ふ言葉に深甚の意義を見出さむとするものであります。

大亞細亞經營の基礎

北支の新政權

先づ內政の安定充實を圖る

開發を待つ無盡寶庫

【北京發】臨時政府の行政委員會委員長湯爾和以下各委員は大會議室で記者團との會見を遂げ左の如き一問一答を行つた

問『貴政府は臨時政府の名稱を冠してゐるが、正式政府の誕生する時期は何日か』

答『正式政府への意向に就いては愼重に考慮を遂げて研究中であるが』

問『新政府の成立後諸外國に對する手續きを取つたか』

答『諸外國に對してまだ新政府成立の手續きはとつてゐない、外交の事は相手國の態度に依り措置さるべきもので相手國が新政府との修交を希望して來るならば新政府も欣然これに應ずるの用意を有する』

問『新興救濟部設置は新政府の一特色をなすものと考へるが既に實際的な、災區救濟に着手したか』

答『未だ政府各機構の組織充實に忙殺されてゐるため具體的には何も實行してゐない、明春早々より着手する方針である未だ具体的には何等決定してゐない』

問『貴政府の財制政策如何將來[illegible]政府の財政强化を計るべき財源その他に對する方策如何』

答『新政府の財源としては舊政府の主要なる國庫收入を持つてこれに當る意向で海關の接收を終了しまた糖税鹽税の整備增收を計つてゐる』

問『貴政府の外交關係は臨時政府に於て結ばれるか或は正式政府の成立後行はれるか』

答『外交の事はもとより肝要だが我々の目下の方針は專ら內政の安定充實にある』

多元的な權益

有害無益なるもの尠からず

【北京特報】北支新政權下に於ける諸外國の政治上並に經濟上の勢力は相當に錯綜して居り、然もその或るものは地方の爲めに有益であるが、中には全然有害なものも尠からず、新政府の手に依り發表したる所は次の如くである

即ち領土主權に關するものとしては

領 土の租借で英國は威海衛を一九三〇年一應形式上支那に返還したるも事實上今日まで租借返還を無意義のものとしてゐる居留地の設定は日英佛伊の諸國は支那との條約により天津に專管居留地を有し、日本のこの權利は一八九六年十月の議定書に依るもので、列國は一九〇一年の北清事件最終議定書により、公使館所在地の區域を管理し、該區域內には支那人の住居權を認めない上、支那に於て領事裁判權を有しその臣民又は人民は、支那の法權に服從せず

軍 事に關するものとしては列國は北京及び北京海濱間に交通の自由を維持するため主要なる都市を占領し軍隊を駐留せしむる權利を有して居る、勿論、公使館區域に駐兵し、各國軍艦は自由に白河を航行する權利を有して居る、次に鐵道借款であるが之れは外國權益の中に於て最も重要視せられてゐるもので各國の北支鐵道借款は左の通りである

	百分比	
一日本	二四、九	八九、五二一、〇八八元
二ドイツ	二一、七	七八、三三三、七五二元
三ベルギー	二一、七	七八、三五一、七四五元
四英國	一七、〇	六一、一一六、一五八元
五オランダ	一〇、七	三七、三一七、三九八元
六フランス	四、〇	一五、〇〇〇、〇〇〇元
七米國	不明	
右合計		三五九、六四〇、一四一元

以上關係の鐵道は左の通り

●北寧鐵道 山海關と北京間

●京漢鐵道 北京と漢口間

●津浦鐵道 天津と南京の對岸の間

●道清鐵道 道口鎭と清化間

●京スイ線 北京より大同經由スイ遠省包頭に至るもの

產業化せんとする

北支の大富源

着目さる、英國人の權益

棉花の前途多望

揚子江及び黄河の流域が棉花の栽培に適し、殊に黄河流域が最も有望とされてゐる、是れ河北及び山東兩省が日本の紡績原料の供給地として重要視せられる所以で、現に河北、山西、山東の耕地面積は二億八千万支畝であつて、その內棉作地は千五百万支畝即ち全面積の五％に過ぎないから、棉作地の增加及びその栽培法の改良により、現在の生產高三百五十万梱を三倍にし一千万梱とすることは決して難事ではな、、斯くして對日輸出が增加すれば獨り我が紡績の原料獲得を安全ならしむるのみならず、疲弊せる農民の復興を促し以て日支經濟提携の實をあぐるに足る

石 炭はその埋藏量無慮一千三百廿七億トンと稱せられ豐富なることは實に世界の驚異とされてゐる、就中、河北省の埋藏量は卅億トンであつて今日までのところ毎年の出炭量約八百万トンに上り、全支生產高の四割以上に上つてゐる重なる炭坑は英支合辦の開欒炭坑で實權は英人が握つて居り埋藏量は七億トン、純年盆六百万元で、日本にも一ケ年六十万トン位輸出されてゐる

次に有名なるは井徑炭坑で元清國政府の顧問たりし獨逸人ハンネッケンが政府よりたゞで貰ひ受けたもので經營は同人の息子と河北省政府の合辦、現在の出炭量は年八十万トン

山東省の石炭は埋藏量十六億トン、山西省は千二百七十億トンと稱せられ全支の五割一分を占めてゐるが、多くは自然のまゝに放置されて僅に經營せられるものも全部支那人に依り極めて幼稚な方法で採掘されてゐる

鐵は全支に於て四億トンと云はれその半數は北支に存在すると稱せられる

鹽 に就ては天津方面の沿岸は到るところ鹽田の築造に適し、その費用關東州及び滿州の千五百圓に對し僅に八百圓乃至千圓に過ぎず、故に政府に於て少しく製鹽を奬勵する時は現在の設備で、優に百万トンを製出し得べきのみならず更に設備を擴張すれば二百万トンは容易である

電力事業に就ては最も早く着手せるはベルギー人の電車及び電燈事業で天津電車電燈公司と稱し、本社をブラッセルに置き天津に營業所を所有す、資本六百廿五万フラン、又最近では中日電業公司があり日支合辦で資本金八百万元、拂込は半額で經營してゐる

な は列國の北支權益中英國に就て見れば

一天津に專管居留地を有す
二威海衛の事實上占領
三守備隊駐劄權を有す
四公使館區域の維持
五領事裁判權を有す
六鐵道利權
七石炭採掘權
八海底電信借款
九銀行經營

之を要するに英國の經濟權益は主として投資事業である、そして英國の謂ゆる日英協調と云ふのは、支那を北支と南支とに分ち、英國は滿洲國の獨立及び日本の北支に於ける特殊地位を認める代りに、日本は中南支に於ける英國の經濟的並に政治的活動の自由を認めよと云ふ主張は大には注目すべきことである

大正の初頭西比利亞

出兵の思出——(上)

二子石官太郎

▽……△

抑シベリア出兵と云ふものは大正の初頭に於きまして米國政府の提議により日本政府も之と協力して、相當の兵力を先づウラジオに出兵し、西歐ロシアに於て建國の意氣に燃えながら、頗る苦境に呻吟してゐるところのチエック軍を東方に救ひ出して、先づ之をウラジオに送り海路によりて之を再びフランス戰場に送り返すと云ふ頗る義俠的の提議でありました。

日本政府も之を快諾して前後通じて數師團をシベリアに派兵しましたが、その主意が十分に國民に徹底せなかつた爲めに、種々苦杯をなむるやうな結果に落ち入りました。

▽……△

私は第五師團の參謀長として大正八年八月中旬、師團と共に宇品港を出帆し、同月下旬に、後バイカル州チタ市に到着し、第三師團と交代して、その任務に服することゝ相成りました、當時チタ市には反過激派軍首領即ちコサツクの統領セミヨノフ將軍が指揮する數萬のロシヤ軍が居りました之を指揮して其の任務に服することになりました。

當時シベリア一帶の情勢は、漸く露西亞革命の餘波が東漸し、至る所不穩の形勢を孕み、社會革命黨若くは農民革命軍と云ふ樣な名を以て、所在に不逞の徒が蜂起すると云ふ有樣でありました。

▽……△

然も大正八年末になりますと、專ら英國の指導の下に、ウラル戰線に於て奮鬪しつ、あつた、コルチヤツク提督指揮のオムスク政府軍が、イシイル河畔の戰鬪に於て大敗を招きました結果其隷下にありし、カッペリー軍と共に、雪崩を打つて東方に潰走する運命と相成り、遂に日本加藤恒忠駐露大使の如きも遂にチタ引上げの已むなきに至りました。コルチヤツク提督は遂に、イルクウツク革命政權の爲めに落命するに至つたのであります。斯くなると後貝加爾一帶の地方も殆んど亂麻の狀態と相成り、チエック軍は不埒千萬にも過激派軍と內々暗默の間に提携して、東方に移動するの狀態と相成り其後に過激派が相續いて東進すると云ふ有樣と相成りました。

▽……△

肝心要の輸送援護の本營たるチ軍が、過激派軍と相通ずるに至りましては、反過激派軍の首領アタマン・セミヨノフの憤激は其極點に達し、正に一觸即發の危險狀態にまで推し進みました。

大正九年一月には遂に、バイカル湖畔守備の米國軍は、日本軍に交渉無しに突然其守備地を撤退する事となりました。其後益々セミヨノフ軍より、スキーペトロフ中將の指揮する露軍を急遣しました所が、直ちにチ軍に武裝解除せらる、始末と相成り紛糾は一段と險惡の度を加ふるに至りました。

▽……△

日本軍に於きましては、百方苦心の結果、本庄支隊(現今の本庄繁大將)を、イルクウツクに派遣しましたときは既に時機を失し、這々の體にて引上る事と相成り、ウエルフネウヂンスク附近の混亂は一層名狀すべからざる情態と相成りました。時日は確然と記憶しませぬが、一月中旬の霜氷る或夜半の頃、佛國外交代表モグラ氏は、列國外交團を代表して知多の日本軍司令部を訪問して、申しまするには、萬一、ザバイカル附近に於てチ軍と露軍と戰鬪を惹起する樣な事が起りましたならば、全くチ軍救援は不可能となるのみならず、我東洋に禍亂を醸成するが如き結果とも相成らば由々敷大事である。

支那よ疾く兜を脫げ

夫れがお前の爲めだ

目醒しい盟邦獨逸の斡旋

◇……山は見えたぞ！

【東京特報】在留外國通信員達は日本がドイツ大使を通じて支那側に提出したと言はれる停戰條件を傳へ、之れに對し左の如き觀察を發表してゐる

△**ヘラルドツリビユン紙** 近く將介石に再度平和條件を內示し若し將にしてこれを拒絶すれば長期戰に移るべく、對支宣戰布告に關しては末次內相が强硬に主張し居るも軍部及び內閣の大多數は對外關係との混雜を氣遣ふ立場から、今日のところその時機にあらずとされてゐる

尤も將の抗日が頑强となれば或は宣戰布告となるかも知れぬ、而して日本がドイツ大使を通じて手交した原則的媾和條件は次の如し

一支那は抗日政策を放棄し日滿支協力して共產主義を排擊すべし
二支那の富原開發、海關其他に日本も參加す
三指定地に日本軍を駐屯せしむると共に非武裝地帶を設置すべし
四內蒙古を含む各地の自治政權樹立
五軍事の賠償

●**ニューヨークタイムス特派員**は左の意見を發表してゐる

日 本から支那側に提出した停戰條件は傳へられる如く峻酷なものでなく、一般の豫想に反し極めて寛大なもので戰局が殆んど全支に亘つて擴大された事實と將の軍が完全に打破された事から考へても寛大と見なければならない其條件は

一支那が共產主義排擊の方針を樹立すること
之れは恐らく支那が露支の不可侵條約を破棄又は無效化する事にならう
二日支合辦の航空、商業その他鐵道の權益委讓
三今次の戰費を支拂ふこと
之れは支那には賠償の能力がないから代りに權益利權の讓渡により行はれるであらう
四滿洲國承認
五日本人顧問の採用

との五項を主とするもので日本は北支を切り離して

滿 洲國の如く獨立させるとか北支を併呑する意志は全然有しない點を明にしてゐる之を要するに、日本の對支方針は經濟進出が主でなく政治上、作戰上の二つの理由から支那との協力を絶對必要とするものである

支那と赤露が協力合體することは東洋の平和を亂す恐れがあると云ふのである、即ち日本が赤露と開戰する場合、支那に抗日政府が存在することは日本の對露作戰を危險に陥れるもので、この反對に日支が提携すれば赤露も手が出せず、從つて東洋に永久の平和が保たれると見てゐるのである

然 し若し將があくまで和解を拒絶し長期抗戰をつゞける場合、日本は軍を奧地にすゝめるかと云ふと之れは考へものである

恐らく日本は陸軍を前進させずに專ら空軍を以て將介石の逃げ行く先々へ空襲を加へ、將政權の全支に對する威信を傷け、これを地方政權に押し込めるであらう

而して一方、北支及び揚子江下流一帶を占領して新に生れ出づる雜多な地方政權と提携しつ、、將が和を請

(第二面へつゞく)

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone : 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
→ SANTOS ←

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行部
伯貨定期預金
一ケ年 六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ 七四ーA
郵函 五二八 サンパウロ
電話 二ー一六八五番 二ー二九八一番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ
ロザリーノ シルバ 一四七
郵函 一一番
電話 一四七

切り取つて手紙の表にはられたし

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄉里送金
新爲替管理令により內地向送金は一口四百ミル迄許可さる、事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尚新令により特別税として送金額の三分(３％)を「ブラジル銀行」へ納入せねばなりませんから送金額以外に三分(３％)の金額を加へ御送金下さい、特別税三分(３％)御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します

橫濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

說園

眞の日本人に歸って

△

今日の世界は何もかも經濟から出發し經濟に支配され、その軌道から脫線するや忽ちに奈落の底へ顚落してしまふ。我々の周圍を見廻すとき、眼に見えぬ隅々まで、十重二十重に張り巡らされた經濟の網の目は、寸分の隙もなく、心なき一擧手一投足悉くがその支配を受けてゐることを知る。

アマゾンの奥にでも逃避しない限り、悠々自適をたのしみ、この經濟の魔手から脫れ去ることは不可能である。

△

昔から、それは〳〵多くの人が物質と精神、靈と肉利己と利他の矛盾に惱み、單なる經濟――金錢の鎖を斷ち切つて、在るがまゝの世界も、たとひ身にウントストンを持たずとも、心は常に豊な天來の法悦境に處し得る人間、究極の理想を具現したいものと努力して來たのである。

凡そ學問と云ひ修養と云ひ其の目指すところは唯一つ、如何にしてこの煩惱多き人生をヨリ崇高な淸純な神の世界に、近づけんかと云ふ事にあるのではないか

少くとも我々日本人の學問はそうであつた、路傍の名もなき小草の花にも悠久の聲を、大自然の姿を見出し得る如く、一本一草その悉くが親しみ深い心の師に外ならないのであつた。

△

かつて明治大帝が副島種臣に『東西の學問の相違如何?』を御下問になつたとき種臣は恐懼して『東洋の學問は人を神に近づけんことを念願とするものでございますが、西洋のそれは人を動物と同列に置かんとするものであるやうに存ぜられます』といふ意味の奉答をしたと云ふことが傳へられてゐる、蓋し穿ち得て妙と云ふべきではないか。

△

敷島の大和の國は神の治し召す國であり、その蒼生たる我々は共に同じ神を祖として至尊たる現人神を奉戴する名譽ある民である、との信念を以て忠誠を盡すことを念願とし來つた我が祖先達に比べて、『我々は無産階級である』とか『人類はゴリラの進化したものである』とか稱へて得々然たる現代の科學者や、その洗禮を受けて眼をくらまされて了つた人々は、恰も葭のズイから天井を覗くやうに、視界が狹められ、自由無碍闊達の觀察ができなくなつて了つた哀れむべき精神的不具者とも云ふべきであらう。

△

あらゆるものを金錢に換算し、物質に置き換へなければその價値が解らなくなつて了つた現代の人々は、遂にその最も純粹にして利害の打算から超越して居るべき、家庭生活をさへもこの富――金錢――の法則を以て律し去らうとしてゐるどう考へてもバカゲタ話である、斯かる社會では、やがて年老ひて働けなくなつた時、そこに待つものは冷い社會經濟學の鐵則で、働かざるものは食ふべからずの運命のみである。

だが、正しい人間の考へから云へば身分不相應の贅澤さへしなければ、凡そ一個の生命がこの宇宙に宿つた以上、その生命の存在が許される限界に於て、必ずその存續のために欠くべからざる糧は供へられて居ると云ふ、古來の信條は永久に不變なものであると思はれる、なまじい便利とか快樂とかを求めて必要以上の要求に驅られるが故に我と我か身を慾に亡ぼす人の如何に多いことか。

△

『常に食を感謝して受け、食らざるときは如何なる貧相も富貴の相に變する』と古人は敎へて居る。かうした敎へはもはや陳腐な唐人の寢言のやうにしか扱はれない現代であるが、しかし眞理は永遠に搖ぎなく滔々としてその赴く處を知らぬ物質至上主義の獨流の中に微力ながらも、その奔流をせき止め淸淨ならしめる力は動いてゐる、經濟も政治も學問も宗敎も凡てこの根本に立つものでなくてはならぬ、科學を以て打算の具とする愚を止めて眞の人生を築き上げるための道具とすることが、現在科學者の――日本人の祖國に對する御恩報じなのである。

愈々年貢の納め秋平 もがく將介石

如何に行政機構を改めても 窮極は沒落への一途

【北京發】蔣介石は遂に行政院長を辭職して孔祥照を後任に任ずると共に自らは軍事委員會委員長參謀本部總長として軍事方面に專念する事となつたが蔣の辭任と共に國民政府は行政機構の大改革を斷行した改組後の行政院管轄各部長左の如くである

行政院長　孔祥照
副院長　張群（前外交部長）
外交部長　王寵惠（留）
財政部長　孔祥照（留）
敎育部長　陳立夫（新）
軍政部長　何應欽（留）
內政部長　何　健（新）
交通部長　張公權（新）
（張は前中國銀行總裁）
經濟部長　翁文灝

其の他改組事項左の如し

一、海軍部を廢止　二、全國經濟委員會及び建設委員會、組織委員會廢止　三、實業部を經濟部と改稱　四、鐵道部を廢して交通部に合併　五、軍事委員會に軍事訓練部（白崇禧）政治訓練部（陳誠）兵站部（倫飛鵬）を開設

共産黨政治的犯人釋放

又國民政府は共産黨員の政治犯人を全部釋放する事を決定した、かくて國府改組の眞意義は國共合作の實現に應じて、共産派の要求を容れ、全面的に對日長期抗戰の體勢を整備せんとするにあること明らかであるが支那側はつとめて共産黨勢力强化の事實を陰ぺいせんとし今回の國府改組は保守派勢力の勝利であると宣傳してゐる

【上海發】今回の南京政府改造と同時に多數の政治犯人の釋放を見たが、此れに關し南京政府要人は左の如く語る

政治犯人を收容せる各地の懲治檻を全部閉鎖し同時に犯人全部を釋放する事となつた。之等犯人の多數が共産黨員である事も事實である。此れが爲世間は動々もすれば南京政府が愈々共産化したと觀るのは大なる誤りである。

今回の政治犯人の釋放は今後南京政府が寧ろ保守主義に進む一階段であると言ふよりも寧ろ右傾に進むと言つた方が當つてゐる。つまり共産黨員が今後改宗して國家中心主義の國民黨員に轉向したのが即ちこれである。

南京空爆の印象……(4)

――支那事變と我海軍――

海軍中佐　梅崎卯之助

▽……△

其にも拘らず外國などに於て、まるで反對の宣傳をするといふことになりますと、もうこれは、私は斯ういふ紙上で申上げることは失禮と思ひますけれども、もう我慢にも程度があるのじやないかといふやうな氣がするのであります。のみならず現在のところ第三國の物資が、殊に軍需品或は飛行機などが、もう判然と香港あたりから這入つて居りますが、これに對して指一本も差せないといふことは、吾々海軍の出先の者にとつては物足りないといひますか、やり切れないやうな氣がするのであります。

▽……△

然し乍ら目下作戰もだん〳〵進んで居りますので、何れ吾々の期待するやうな事態が生れると思ひますが、早く南支方面の非常な困難な戰局を克服致しまして、あの方面が全部日本の軍隊に依つて抑へられまするならば、幾らイギリスと雖も上海の總てを日本にリードされるのは嫌でありませうから、進んで日本に握手してくるといふやうなことがないとも言へないのであります。別にイギリスあたりを吾々が齒牙に掛ける必要はないと思ひますけれども成べくならば彼等が自ら自覺して握手を求めるやうなことになれば結構なことだと思ひます。

▽……△

日本の海軍の航空部隊に就いて說明致しますと、私どもはこれをまた三つに考へて居ります。一つはいはゆる渡洋空襲部隊、つまり海洋を渡りまして支那の內地の爆擊をやる、さうしてまた海洋を渡つて歸る。これは海軍の術語ではありませぬが、渡洋空襲部隊と言ふて居ります。この海洋を渡る空襲部隊といふのは、非常に遠距離に飛びます關係から大きな飛行機であります。いはゆる重爆擊機と申しまして發動機二つあります。塔乘員も十名近く乘つて居ります。非常に大きい。隨つて滑走する距離も八百メートル乃至千メートルくらゐ要しますので、軍艦着はできないのであります

▽……△

隨つてそんな大きな飛行機を飛ばす飛行機を飛ばす飛行場といふものを、いきなり支那の敵地にそれを求める譯には參りませぬので豫め此方の方から行くのであります。それからもう一つは、これは艦隊の航空戰隊でありまして、いはゆる航空母艦から出たり降りたりするのであります。隨つて母艦の甲板は二百メートル乃至二百五十メートル位しかありませぬので、これに使ひます飛行機は余り大きいのは使へない。

いはゆる輕爆擊機といふ種類のものでありますが、これも前のと同じやうに滑走しますので、車輪の附いた陸上飛行場で使ふのと同じものであります。この飛行機は當時既に準備されまして、揚子江の入口の附近を根據地にして待機の狀態で居つたのでありますが只今申しましたやうに非常に時化てゐる、母艦も動搖してゐるといふので、これまた發進が非常に困難でありますから、艦隊司令長官はこれに對して攻擊命令を出して居りませぬ。

▽……△

ところがもう一つの第三番に申しまする種類といふのは、各軍艦が搭載して居ります艦載飛行機。これは軍艦の滑走甲板でなく、カタパルトといふ機械から射ち出しまして、さうして飛び出して、あとで歸つて來る時にはデッキに歸れないから水上に降りる、水上に降りましたのを軍艦からデリックで艦上に吊上げて中に納める

そういふ關係から水上飛行機を使ひます、隨つて新聞などで下駄履きと俗に申しますが、フロートの大きいものを有つて居ります、この飛行機はフロートを抱へて居りますので宙返りとかいふやうなスマートな運動ができませぬので大體の任務が軍艦の上から飛び出して偵察をやる、或は彈着の觀測をやるといふやうなことでスピードの方は要求されて居りませぬが長く空に居つていろ〳〵な觀測や偵察をやるやうに出來てゐる、當時艦隊は揚子江の外側に居つたのが大部分でありましたがこれに負載してあつたこの種の飛行機も天候の關係から使へなかつたのであります。

無意味な殺生 抗日强化

【上海發】蔣介石が南京總理大臣格の位置を孔祥照に讓つた事は彼の失格を意味することでなく今後の抗日戰における彼の抗日强化を意味するものだとの宣傳の理由としてナンキン政府側は蔣介石の今後の位置は左の三大軍事要位を占めて事實を列擧した。

一、參謀總長
二、支那軍總司令官
三、軍事國防會議長

尚參謀總長及び軍事國防會議長は今後工業並に農業方面に關する絕對の支配權を掌握するもので此點完全な一獨裁主義者である

逃げ乍ら法螺

米人記者が嘲笑す

【紐育發】紐育タイムス特派員は蔣介石の所謂長期抗戰を嘲笑して左の如く論じてゐる。

蔣介石一派は共産派の提供したゲリラ戰術を以て永久抗日を叫んでゐるが遠からず日本が全支沿岸を占領して支那の輸出入の口を全く締めてしまふことは判り切つてゐるのに今だに長期抗日を叫んでゐるのは全く愚の骨頂である。

蔣介石の下にある軍事委員會は蔣介石直系が三分の一、白崇禧の西南派が三分の一、殘りは共産軍がその椅子を占めてゐると言はれ、蔣介石は今や全く共産軍と握手した形となつたが果してこのゲリラ作戰が長つゞきするか否かは考へものである蔣介石の人氣も彼が抗戰を續ける間だけで少しでも敗北を認めたら忽ち一夜にして人氣を失ふであらう。

赤露へ泣つく

長期抗戰を企圖し

【上海發】確報によれば將介石は對日抗戰の全面的敗北の結果いよ〳〵ソ聯と相結んで長期抗戰を企圖しあはよくば、ソ聯を動かして日蘇戰爭に導くべく種々謀略をめぐらしてゐるものゝ如く蘇聯派の巨頭孫科を蘇聯に特派する一方歸國中の駐ソ大使を近く再び歸任せしめ蘇支不可侵協定より更に一歩進んで何らかの政治協定を締結すべく劃策してゐると傳へられる。共産勢力の支那軍司配、國府改組等に次で最近支那要人の外蒙入り等將政權の對ソ聯繫は最早や動かし難き事實となつて現はれ、和平はこゝに全く絕望視さるゝに至つたなほ先般ホンコン經由モスコウへ向つた孫科は先づ歐洲各國を歷訪し列國の對支意向を打診したのち、ソ聯當局と重要政治會議に入るものと見られる。

【上海特報】將介石は揚子江沿岸の某處で米國AP通信員と會見して連戰連敗の悲報相次で至るにも拘はらず米國民に對し我々抗戰に信賴するやう傳へて貰ひたい、戰局は今は一轉せんとして我々は窮極の勝利を得るであらうと豪語したと傳へられる。將介石は今や全くソ聯の援助にすべての希望をかけてソ聯との接近に狂奔してゐるものゝ如くである。

更に大規模の 武器購入

【上海發】支那は最近新に二千万元の武器を外國より購入することゝなり、目下その武器を龍海線の徐州一帶に集結しつゝあると言はれるが、その約半分はソ聯より購入したものであると支那側の消息によれば將介石の抗日政府は舊臘十日前後某國との間に多量の武器購入を契約した。右は今次支那事變勃發以來、第二回目の購入であるがその價二千万元に達し武器の種類は十二吋及び十吋徑重砲を各六門、野砲十八門、步兵砲三十門、高射砲及び重輕機關銃三十挺、步兵銃一万余挺及び防毒面十万個、砲彈、小銃彈等數百万發に達し

これ等の武器は十日前より某方面より○○を超えて數百輛のトラックにより、大部輸送されつゝあると言はれる。なほ立法委員長孫科は近くソ聯に赴く筈で、滯露約一ヶ年の豫定であるが武器購入と重大な關係があるものと見られてゐる。

支那軍の現有兵力

九十万と稱せらる

空軍には多數の外人が參加

【上海發】南京濟南杭州を失つた後の支那軍の現有兵力は約九十ケ師（九十万）と稱せられるが支那側は戰線を擴張してゲリラ戰一點張りで抗戰する一方更に八十万の新兵訓練に躍氣となつてゐると傳へられる。長期抗戰に入つた支那軍の對日作戰は共産軍の獻策を容れて專ら一、ゲリラ戰術　二、焦土政策の二方針を中心としてをり後方に於て新兵の募集訓練に全力を注ぐ一方前線に於ては出來るだけ正面衝突を避けて重要地點もやむを得ざれば日本軍の占據に委ね戰線を擴大し遊擊作戰を以て日本軍の手薄な地點をねらつてこれを衝き兵站線の攪亂を圖ると共に、一城一郡を拔かるゝ度每にそれに火を放つて日本軍の手に一物も殘さぬまであらゆる施設を灰燼に歸せしめんとするものである。

【上海發】支那側報道によれば現在支那空軍に參加してゐる外國人は六百五十名の多數に上り（內百五十二名は米人）その九割までは支那空軍に參加し空中戰專門のパイロットとして活動してゐると言はれる。なほ外人飛行士で日本の飛行機を擊墜したものは一臺につき五千弗（米貨）乃至一万弗の賞金を與へることになつてゐるといふ。なほ昨四日漢口飛行場で墜落慘死した米人二名の內ロスアンゼルス出身のウエルチといふ男は二年前から支那にありテキサス出身のサンクスターは僅か一ヶ月前支那軍に投じたものであると

（第一面よりつゞく）

ふまで、にらみ合をつゞけるであらう、何んといつても南京の陷落を最後として日支の大規模な戰はその幕を閉ぢたので

自ら求めて戰端を開いた支那は完全にその軍隊を失つたのである尚確聞するところに依れば日本が對支宣戰布告を延期したのはヒットラーが防共協定の機關を通じて、駐日ドイツ大使をして廣田外相を訪問せしめ、この場合日本が支那に向つて正式に宣戰を布告することは各列强をして、支那に於ける重大權益の擁護を强要すべく、斯の如きは日本の對支進出を却つて阻害するものであると强調した結果であるものゝ如くヒットラーは在ベルリンの英國大使を經て通牒して來たが最近獨英の外交協力は特に注目される

尚又ドイツ大使を通じて行はれてゐる和平交涉について面白いことにイタリーも調停役を買つて出たと云ふことである、しかし日本はこれを婉曲に辭退してゐるらしい、初めてドイツ大使が調訂を申込んだ時將介石は相當時間の考量方を求めたもの、如く日本の平和條件は十二月三十日を以てドイツ大使を通じて漢口の將介石に手交されたが原則の六個條は今では四個條になつてゐるものと解せられる、談判は東京に於て行ふことを條件とし、ドイツは今後とても調訂を繼續する筈で

同時に在支ドイツ居留民に對し再び治外法權を賦與すべしとの噂が高い、日本としては將介石が未だその條件を拒絕せず、ドイツ大使に向つては依然調訂工作を續けて欲しいとの希望さへ述べた事實に望みを懸けてゐるものゝ如くで、日本は既に平和を準備してゐるが支那は戰爭の繼續は欲しないもの、日本が五十万の兵を支那に駐屯せしめて居る限り支那としては追々日本軍を奥地に誘惑してこの戰爭を來るべき秋まで保ち得れば、假りに一戰たりとも勝利を得ずとも支那は日本を最後に敗かし得ると信じてゐるらしい

歷史の示すところに依れば日本は『戰爭』には勝つであらうが支那は『平和』に勝ち得ると信じてゐるやうである

本月四日のロンドン電報に依れば英國はドイツと協力して調訂に乘り出す旨在ロンドン吉田大使に其の意を明かにし、日本の眞意を打診せんとしてゐると報じてゐるが、一方今度新たに將介石の顧問として招聘せられたジョージ、シエパードは『日支戰爭は爾後三年乃至五年は續くであらう、そして日本は經濟的にまいるであらう』とほざいたと

ダボラを吹いても 結局は駄目だと

米紙上海支局長は觀破す

【紐育特報】支那側が盛んに長期抗戰を宣傳してゐるので日支事變の解決は前途遼遠のやうに思はれてゐるが、ニューヨークタイムス上海支局長は此世論に反對して支那側も遠からず和議を申込むこと必定と見、左の如く報道してゐる。

戰況に關する支那側の公表は從來『某所を奪還せり』といふ元氣のいゝマばかりであつたが最近その發展ぶりに大きな變化が認められる。即ち最近支那側の發表には『日本軍が某地を占領する時某地は焦土と化してゐるだらう』とあるのみで、すべての發表が支那軍はその陣地を保守することが出來ないことを自ら認めてゐるやうに見える。支那側の發表形式が斯くの如く變つて來たのは支那當局に近く和を講じて日本側の要求の大部分を容認する用意が出來てゐるので目下國民が和議を歡迎するやうにその準備工作として發表の形式を『抗戰絕望』といふ印象を與へるやうに努力してゐるものと見る向きもある。しかし乍ら支那軍部內に刻々勢力を强化しつゝある共産派はこの和睦に對抗して飽くまで抗戰を續けるため國民總動員とかゲリラ戰を提唱して長期抗戰の宣傳に躍氣となつてゐるのである

我か國の經濟力は 遙かに大きい

金融界は至極順調

【東京發】昨年度の金融界は稀に見る平穩に過ぎたが結城日銀總裁は當面の經濟金融事情につき次の如き意見を發表した

事變下に於ける昨年々末金融も至極無事に推移したのは喜ばしい、是れを見ても我國の經濟力も自分らが考へてゐるよりは遙かに大きく且つ强固となつてゐる

金融市場は最近政府の資金撒布も頗る順調に進んでゐるので、大分ゆつくりして來た、銀行預金なども前年末に較べると約三割程度增加し、手形交換高も二割見當多くなつてゐる、コール市場に放出されてゐる資金の總額も五億圓以上に達してゐることから見ても、各金融機關の手許がユツクリして來たことが窺はれる之れらも要するに戰捷のおかげである

今年はこの狀勢は一層進むであらう、殊に資金の調整法が眞に效果を現はして來るのは是れからである、夫れに輸入の方に於ても物によつては極力抑制することになるから決濟資金も當然減少して來るだらう、このため一方に於て物價が上るのは止むを得ないが、夫れもこれも物によるので全體に上ることはあるまい、又或る程度の通貨の膨張を見ても對外的には爲替水準が國策として維持されてゐるし、また對內的には生産力が相當擴張され、景氣も良くなつてゐるのだから、惡性インフレなどの心配はない併し戰爭がすんだ後は余程警戒せぬと、この危險性はある、いくさに勝つたからと言つて安心し過ぎてはいけない、この點は各方面共自重しなければならぬ

橋本大佐は 杭州轉戰

【上海發】パナイ號事件當時蕪湖方面にあつて外人たちから問題とされた橋本欣五郎大佐は本國へ召還されたと噂されてゐたが同大佐はその實召還されたものでなく部署を變更して杭州攻略戰に參加活躍中と言はれる。

優良新種子到着御案內

皆様種子ナラ
日本ヨリノ直輸入
濱岡商店ニテオ撰ビ下サイ

セボーラ種
カナリヤ型
リオグランデ型

日本種
聖護院大根
宮重大根
時無大根
青太胡瓜
節成胡瓜
丸茄子
瀧ノ川牛ボウ
サクセツション大葱
小松菜
白莖三ツ葉

以上ハ故國デ有名ナヤマト種苗ノ
保証付嚴撰種バカリデス

新メリカード前
濱岡商店
聖市セーレス街十二郵函九九三

伯国最新進出品
安價、堅牢、優美
絹張
日傘
製造元
ノロエステ線アラサツーバ市
郵函三〇〇
守進律夫

瀨安
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL・300
ARAÇATUBA.N.O.B.

安瀨商會
本店　アラサツーバ市
事務所　精米所　珈琲倉庫
電話五四　郵函三〇〇
支店　アグアリンパ
內外雜貨　食料品
珈琲　フバ工場
支店　ヴアルパライゾ

眞宗法話會
毎月二十八日
午後一時より
（會費不要）
岡田英定方
R. Dr. Mario Vicente, 50
Ypiranga - S. Paulo

御好ミニ應ジ
迅速、丁寧ニ仕立テマス
德岡服洋店
バールパライゾ市
アベニーダ ノロエステ五〇

南京空中花と散つた
我勇士の教訓
今度歸る時は白木の箱でと
遺るは唯だこの短刀

【神戸發】阪神沿線芦屋精道小學校では九日同校卒業生で而もナンキン爆撃に偉功をたて江南の華とちつた故梅林大尉の嚴父梅林行運氏の來訪をうけ全生徒はゆくりなくも大尉の生ひ立、小學校時代から神戸高等商船學校當時の思ひ出で話しや軍人となつてからの一死報國の念にもえてゐた數々の追憶談をき、、小さき胸に感激の波をたゞよはせたがさらに十日大尉の遺品（通常禮裝）の寄贈をうけるにおよんで故梅林大尉の精神はコン然と精道小學校スピリツトと化し梅が香もひとしほかほる學園感激篇を織出した

この日行運氏は大尉とゆかりのある神戸一中から神戸高等商船をおとづれ校庭で同校教職員學生にたいし『息子孝次が學生時代當校でお世話になりましたが今次の事變にナンキン空爆に出動して戰死しましたその最後のほども當學園の訓育がよかつたためですつ、しんでお禮申します』との挨拶をのべさらに同校養成館にて吉年校長以下教授とつきぬ涙の思ひ出話をした後

午後二時から再度精道校をとひ、同校講堂における遺品贈呈式に臨場

この短劍こそ息子が最後の空爆出動の直前まで身につけてゐた唯一の遺品で、平常の語り草に軍人は小さな白い箱に入つて歸るのだと言つてゐたが、息子にはこの小さな箱さへない眞に魂一つが歸るのであつてこの短劍を學校に寄贈してしまへばまたいつの日に遺愛の品をいだけるかどうかこれを息子の精神として立派な日本國民となつてください

と言々句々かたるも涙きくも涙の劇的シーンを展開、かくて小さき學童の心に深く非常時的教訓をうゑつけたのであつた

續いて賀集校長の謝辭學童代表六年生長谷茂吉君同野口みつ子さん、五年生村本亘君、同佐付ひろ子さん達がそれ／＼感想文の朗讀を行ひ最後に『あ、梅林大尉』の歌を合唱して此式をとじたまた遺品贈呈式に臨席してゐた精道婦人會員はふた、び行運氏の出場を懇望して故大尉について講話を聞いた

梅林行運氏偶然の來訪で精道小學校兒童のうけたいきた教訓は多大なもので、野口みつ子さんと村本君が朗讀した感想文によつても感銘のほどが察せられ同校不朽の敎へ草とされることになつてゐる

生徒の感想文

五年生　松下亘

十一月九日故梅林大尉のお父さんが精道校へ來られ大尉の少年時代から戰死なさるまでのお話を一時間あまりにもわたつて色々としてくださいました、その中で私の最も感激したのは神戸高等商船への入學試驗の時の話であつた

『試驗を受けるのは僕で、親や先生でない、僕がしつかりやりさへすれば合格するのだ』

といつて自信をもつて受驗され見事合格されたとの事

次は母の心盡しの千人針をおくられた時親の恩を十分謝して

『一身を大皇陛下に捧げて出征した現役軍人が千人針を身に着けて命を惜んだと言はれては死んだ後までもの恥だ、千人針は有難く頂くが身には着けない』

と言つて勇躍出征された事次はその遺書に

『戰死をするのは十分覺悟の上だ、僕が戰死しても石碑はいらない、天皇陛下から賜はる物は一切家のことや私の事に使はずすべて教育のため世の爲につかつて下さい』又、お家にお歸りになる度に

『自分は木の箱の中に入つて歸る』と言はれてゐられたさうである。

あ、愛機の中でふつてゐる白いはんかちが見へる話はすんだ、先生から一つ梅林大尉歌を歌つてくださいと言はれた

あら波ほゆる支那海を
わが空軍のせいえいは
一つきにとびて空襲す
めざすは南京敵の首都

大尉のお父さんは泣いてゐらつしやつた。

僕も泣いた、私も將來梅林大尉のやうな覺悟をもつて進みたいとの感を一層深くしました。

△

六年生　野口光子

あ、南京爆撃で白きはんけちを振りて僚友、戰友に永久の別れをつげてうらみをのんで南京空中にて花とちられた故梅林大尉は我が校の譽とする卒業生なのでした。校一同は皆感激してゐる。

ところが大尉の父君が昨日こられて、私達の心を一そうきんちやうさせてくださつた。

梅林大尉が少年の頃どんな人であつたか又軍人になられてからの心掛はどのようなものがあつたかといふことが今見てゐるようにわかることが出來た。

軍人になられてからはとても立派な考へをもつてをられて、いつでも御國の御爲には命はをしくはないと考へて居られた。

お母さまにはいつもかへつてこられた時には『こんど私が歸つてくる時には小さな小箱の中に居りますからとてもかるいですよ』といつてをられたさうである。

私はこのことをきいて南京爆撃で目立つておてがらのあつたのは皆このやうな立派な心掛けをもつてをられたからだらうと思つた。

又孝心の深い人で出征なさる時父母にはしらさないで行かうと思つてをられたそうであるがとう／＼大阪驛であはれて、わけをはなされた。それによると大尉は出征することを父母にしらすと心配して涙をみせるから軍人には涙は禁もつである故まだ戰死をしていないうちから心配をかけてはすまないからだといはれたそうだ。

私はこの話しをうかがつてなんといふ勇ましい忠孝の心あつい人だと心から感心した。

又その父君もえらい人である。

新聞社から大尉の寫眞と少年頃のありさまなどおはなし下さいといつてこ[illegible]れたがまだ戰死もしていないのに寫眞などはあげられないといはれてなかなかおゆるしにならなかつたが海軍省から大尉の戰死を發表されたのでやつと寫眞をおあげになつたそうであつた。

さうして少しも名譽の戰死をとげられた我が子をすこしもじまんされないで私達のやつて行く道ををしへてくださつたのには全くけい服しました。

私達はしつかり先生、兩親兄姉のいひつけをよくまもりしつかり勉強して天皇陛下の御爲に役にたつ人になつてくださいと力をこめておつしやいました。私達の心には一番つよくひびきました。

最後に大尉の歌を父君におきかせした。

日伊防共協定—陰の立役者に
捧ぐ純愛六年
長崎に咲いた國際佳話

歴史的な日獨伊防共協定成立に蔭の立役者として活躍すること久しく、遂にその喜びの日をまたず八十歳を一期に國際港長崎で寂しく他界した元支那駐在のイタリー外交官ゼツト、ボールピチエリー翁生前の功績は日伊兩外交界の感激を集め、今度の協定成立と共に翁に對する各方面の追憶を新にしてゐる折柄、長崎市浦上の外人墓地に眠る翁の墓地に日參してその墓前に季節の花束を手向け永久の冥福を祈つてゐる邦人の一老婆の美しい國際佳話が世に出て、日伊盟約の蔭に咲いた兩國親善の花と國際港の話題を賑はしてゐる

——この物語りの女主人公は長崎市大浦町二〇の園田としさん（七七）で、としさんは長い間の支那生活中ふとしたことからシヤンハイで翁と知り合ひ翁がホンコン駐在の總領事を最後に三十年間にわたる外交官生活をやめて老後を養ふべく永住の地を長崎に求めてきてからもかわらぬ純愛をさゝげ翁の起臥衣食など一切の身邊を世話しながら市內大浦町の寓に同棲生活五年餘その間親身もおよばぬとしさんの温かい愛情に慰められた翁は日伊兩國親善のために老軀をおして活躍、ある時は單身上京して日伊同盟の必要をイタリー大使館に勸說し、ある時は舊知のチアノ外相を通じて故國のムツソリーニ首相に日本の立場をのべ兩國の盟約を說き、ある時はまた英文大阪毎日を通じ所信を披瀝して兩國同盟の輿論をわき立たせるなどその隱れた努力ぶりは全く涙ぐましいほどであつたがその結實の日も待たず翁は昨年十月卅日としさんの手厚い看護のもとに淋しく客死したのである

かくて翁の他界後もとしさんはあと始末一切を引受け、長崎社交界の名士倉場富三郎氏らの力そへで翁の遺骨を浦上の外人墓地に埋葬しわざ／＼墓標まで立て、かわらぬ、一周念法要を營みこの度の防共協定成立に際しても墓前に額てこの喜びを報告したのであつた

としさんの話、もう一年ばかり生きてゐてくれたらこの度の協定成立をどんなに喜んだことでせうイタリーには年老た奧さんがいらつしやるだけで子寶もない淋しい家庭でした。同盟ができるまでは決して故國に歸らないと日ごろ申てをりました私はあちらの奧さんと日ごろ文通してをりますが本人は滿足だらうから其遺骨は日本に永久に埋めてくれとのことで及ばずながらお守りしてゐるやうな次第です。（長崎發）

山內一豐の妻
五十圓を投げ出して日本刀
夫の出征に際して

【東京發】出征を彩る數々の美談のなかに嫁ぐ日持參した金子五十圓をポンとなげだして日本刀をもとめ夫の晴れの首途をかざつたといふ今樣山內一豐の妻の感激篇があり一万數千の警官の話題となつている——中野區富士見町二八麹町署勤務村山久助警部補（三一）は九月のある日重大任務についたが、同警部補は騎兵上等兵で出征にあたつて日本刀一口がぜひともほしかつた、然し同氏には父松大郎さん（六二）母ふくさん（六二）の外に妻とめさん（三〇）との間に六つを頭に一男二女があり日本刀をもとめるたくはへもなく途方にくれてゐたところ、これを見た妻女とめさんは、嫁ぐ日に『夫の大事の時に用立てよ』とて兩親からもらつた金子五十圓のことを思ひ出しお國のために働く夫のために日本刀をもとめやうとポンとなげだした、

村山警部補はけなげな妻の心根に感激しつ、、妻と共に八方日本刀をさがしたが容易に手に入らず、これを見た警視廳騎馬巡査京橋區月島八の二松尾次郎氏は同氏が重大公務につく時のためかねて用意してあつた名刀を惜し氣もなくゆづりわたした、勇躍出征した村山警部補は今心こめた日本刀をふりかぶり思ふ存分頑敵を斬りまくつてゐるといふ

中野區富士見町の留守宅には美談の主とめ子夫人、長男好道君（六ツ）長女陽子さん（四ツ）次女みち子さん（二ツ）がをり、とめ子夫人は語る

原隊に入隊した夫から日本刀がほしいといふ手紙が來たのでやつと手に入れましたが何しろ日がなくて刀を手に入れるのに骨を折りました、皆さんの御同情でやつと出發前の夫のもとに刀を送ることができました

孔子廟を保護して
孔家を好遇す
蔣は其子孫を反日に利用
輝く我が軍の至誠

【濟南發】孔子の生地たる山東省曲阜にあつて『衍聖公』としてあがめられてゐた孔子七十七代の直裔孔德成氏（十七才）の行方につき判明せるところによれば將介石は德成氏を利用して反日宣傳を行はんがため皇軍の曲阜占領に先立ち去る一月二日將介石直屬の將校を派遣して孔德成氏を無理矢理に拉致し漢口へ護送したこと明らかとなり聖地曲阜の住民は今更乍ら將の飽くことなき奸策に憤慨してゐる。尙漢口からの外電には德成氏が漢口に到着して丁年に達した上は自分も銃をとつて抗日戰に參加すると語つた旨傳へられたのも將介石が孔子の子孫を利用して反日デマを强制した事實を立證してゐる。

【上海發】山東省濟南よりの同盟電によれば孔子生誕の聖地曲阜を占據した日本軍は曲阜縣城の北方約一哩の郊外にある孔子墓地に守備兵を配置し、丁重にこれが保安に全力をつくしてゐる外、曲阜に四万、附近エン州に五万在住する孔家の子孫一族に對し充分なる保護を加へること、なつた。孔子の墓地は至聖林と云はれる山中にあり墓碑に『大成至聖文宣王之墓』と子の送り名を刻んであり墓守も子の子孫である。（大聖は紀元前五百五十二年今から二千四百九十年前に此の曲阜に生れ紀元前四七九年七十三才を以つて歿した曲阜城內には其の靈位を祀つた至聖廟があり大聖第七十五代の孫德成民は現に曲阜に住んでゐる

是も銃後の花
家出女房歸る

福岡縣早良郡入部村字東入部中村一夫君は、中風症で身體の自由のきかぬたつた一人の老母ナヲさん（七三）を家庭に殘し一死報國を誓つてさきに勇躍して應召出征目下○○方面で活躍中であるが、同君出征後同村主婦會では白米一俵を同家に贈り何くれと面倒を見てゐるので年老いたナヲさんは銃後の暖かい救援の手に何不自由なく感激の日を送つてゐることを複雜な事情から數年前家出をしてゐた一夫君の妻女ツヤ子さん（三二）が傳へ聞き、一夫君の晴れの凱旋まではどんな事があつても老母の介抱をせねば相濟まぬと去十二日ひよつこり歸宅し涙乍らに過ぎ來し日の事を心から詫び孝養をつくす傍らせつせと立働いるが時局が生んだ佳話として村民の話題を賑はしてゐる。【福岡發】

トーチカを觀る
地下の城塞……（上）
兵營も格納庫も完備す

▽……△

日支事變に度々トーチカといふ言葉が現れて來る。これは元來ロシヤの言葉で『點』を意味してゐるソ聯が露滿國境警備の二手段として構築した新形式の要塞陣地であるそれは永久的住居を加味して造られたもので、その形態が、丁度地上表面では文字のトーチカの連續に似てゐるところから、いつかこの要塞陣地をトーチカと呼ぶやうになつた。

▽……△

フランスではシエーヌと呼んでゐる。シエーヌは『連鎖』の意味であるが、これはトーチカと同じ意味に今日用ひられるやうになつてゐる。支那ではこれに調堡といふ文字を當てゐる。勿論支那が用ひてゐる要塞の構造はソ聯のトーチカより程度の低いものには考へられるが、しかし近代戰線の新要塞形式を持つてゐることは想像せられる。

▽……△

要塞は各國の秘密に屬することで、その重要な点を詳しく知ることは困難であるが、長期戰闘にも安らかな就眠休息が出來、十分な戰闘力を養ふことが出來るやうになつてゐる。それには地下抗道が完備し無電設備はいふまでもなく、あらゆる攻擊力に對しても堪へ得るやうに非常に堅牢な窖室が設けられてある。なほ空爆の强擊から逃れ得るやうに地表面に現れてゐるいはゆる點（トーチカ）の部位は厚いコンクリートで造られ、その內部には鐵板が張られてある。この窖室には通風彩光の小窓と地表の樣子お手に取るやうに觀測する潛水艦の潛望鏡のやうなものが備へ付けられてある、しかし敵の方からは非常にこのトーチカは發見し難いやうに配置されてゐる

▽……△

近代戰における最前線の要所を守備するこのトーチカ式戰術は、築城術の點から見て非常に優秀なものと見られてゐる。砲煙ひゞく戰場にあつて更に不安なく地表面の密室にゐる監視兵の特別の報道のない限り全くの太平樂で過ごすことが出來るやうになつてゐる。それであるからトーチカ勤務を一度すれば忘れられない。浮世の風をよそに酒色に意屈な日を幾日を暮すことは當然である。

▽……△

特に支那トーチカ內の亂倫さは相當なもので、麻雀に賭博に心魂をなげ出し鬼畜の生活に終始してゐる有樣である。一度監部から大報告が來ると、彼等は舞臺にでも登場するやうに、道具を身につけて地表面室に馳せ上り、機關銃を手に鼻唄を歌ひながら射擊を開始する。如何にトーチカを信賴し、勝手な眞似をしてゐるか眉をひそめさすものがある。ある支那のトーチカ內は全く卑猥の茶館を思はすものがあり、支那のトーチカ陣地は恐らく戰線の阿片にもひとしいものであらう。

如是我聞

昨年聖市に生れた母國銃後獻金婦人會は現下母國多難の時局に處する在伯日本婦人の立場として、最も當を得た立派な企てゞ有ると云ふので、市內の各邦字新聞社は何れも歡んで之れを應援し、官憲側に於ても相當好意を示して來たことは勿論、純朴な地方在住同胞は擧つて、その呼び聲に應じたるがために僅々にして五十コントスの獻金を突破する好成績を擧げてゐたので應援者の末席をけがした本社同人も、窃に同會の活動盡力を感謝しその成功を深く祈つて居たのである。

△

然るに何んチユウ事ぢや、去年十一月卅日テアトロサンパウロに於て同會運動基金募集映畫の夕前後より內訌を生じ、いつもスツタモンダの紛擾が絶ゆるひまなく心有る者をして顰蹙せしめて居る。

△

處で內訌のそも／＼の原因はと云へば從來第三者の公平な立場からの觀察に依ればざつとこんな事か

一、本當に御國の爲めに御奉公させて貰ふと云ふ日本精神と信念の薄弱

二、團體活動に體驗乏しきため會としての統制缺如

三、余りに世間の思惑や風評に囚はれ、一寸悪く云はれたからとてスグに柳眉を逆立て、狂ひ廻るため會內の空氣が常に動搖し温和しい人々までが不安を抱く（離叛の主たる原因は是れ、悪く云へば自信が足らぬ、虛榮心が强いからだ）

四、最後に、女同士の仕事に野郎共までが出シヤバル故に事が一層面倒になる（サイノロジーの哲學を應用する事は銃後婦人會の問題に關する限り禁物と知るべし）

五、御奉公だとか無報酬奉仕だなんて體裁のいゝ事を言ひつ、裏面でヘンなマネをするインチキ的介在（例へば婦人會が主催したシネマのフイルム檢閲料として五〇〇ミルはねたこと等、凡そフイルムは上映前に其筋の檢閲は濟んで居る筈だのに、特に『無報酬提供』の献金婦人會主催の當夜に限り大枚五〇〇ミルと云ふケンエツ料とは、如何にも人を喰つてゐる）

△

右の事情を知るに及び本社は昨年限り斷然その應援を斷はり直に其旨を同會へ通告し、同時に本紙で社告して置いた次第、其後同會の內訌は益々激化し遂に去月十九日聖報は爆彈的內部暴露記事を掲載したので愈々問題は表面沙汰となつた。

△

子供の喧嘩に親が出ると云ふ諺が有るが、カカの喧嘩に亭主が出るんぢや決して見つともいゝもんぢや無い、聞く所に依ると聖報のあの記事が其れだとある、だから書かれた方では寢ても覺めても『ウヌレ、香山おぼへてゐろ！』と今にもバケて出そう、實に女の一念ほど怖ろしくウルサイものは有りません、ゆめ／＼斯樣な事はにウツカリ手を出さぬことです、古人謂はずや、觸らぬ神にた、り無しと、本當ですばい。

サントス

サントス日本人會では舊臘二十六日定期總會を催し定款の一部を修正し總會に於て理事の選擧を行ひ、更らに去る九日に開催せし理事會に於て役員選擧を行つた結果左の諸氏が當選した

會長　神野亮二
副會長　三吉文人
會計　竹中儀助
學務部長　上原直勝
理事　藤田克己
土井萬七　山本三熊　矢後眞一　伊波興祚　金城愼義　武田義信　吉廣義助　吉田忠次　中島幸吉　五十幡直義　小淵友市

アラサツーバ

アラサツーバ市日本人會の新役員は左の通りである

會長　大原泰二
副會長　白石次雄
會計　伊藤嘉平次
同　桐木乙十
學務　笠原彌德
外交　秋永忠次
衛生　實臣衛

チエテ

チエテ青年聯盟では去月廿三日本度總會開催、本年度役員並に事業計畫を左の如く決定した

委員長菊地軍平、副委員長中島正、會計名和英一、運動部長土屋仁一、外交部長中島正、圖書部長小川昇、辯論部長小平智外遮務部長名和英一

本年度事業計畫

汎チエテ辯論大會四月十日、同野球大會五月七、八日、農產物品評會六月中、陸上競技大會六月廿九日、中堅青年講習會八月中

僞フイスカル御注意

最近州內の私立學校を教育視學官と自稱して巡回し稅金だとか謝禮だとか種々の名目で要求する僞視學官があると言ふことで、相當に被害者も出てゐるやうだが若し本物の視學官なら必ず教育局から發給したカデルネツタ、デ、イデンチダーデを所持して居る筈だから怪しいと見たら其のカデルネツタを示せと要求するがよい、又眞正の視學官なら如何なる名義に依るも學校から金錢を要求するような事は絶對に無いから注意して貰ひたいと其筋から知らせがあつた

●懸賞作文募集

左の規定により小學校生徒の作文を募集し優秀作品に對しメダーリヤを贈呈します、振つて應募するやう各學校先生方並に父兄の方に御配慮をお願申上ます

●題『日本人』

一、十二字詰五十行以內に認めること
一、締切は二月廿八日
一、學校名と學年別及び氏名年齢を明記すること
一、封筒の表に赤字にて『作文』と記入して置くこと
一、發表は三月中旬致します

聖市　南米新報社
Rua Pires da Motta, 381 S·PAULO

CAMBIO
CASA COELHO
Fundada em 1900

兩替

日本金、ドル及びリブラを他店よりも必ず御利益になるやう兩替します一度お試し下さい
サントス市、プラツサ、レプブリカ、四五（マルチン、アホンソ、八〇番の角）電話　二五〇二番
カーザ　コエリヨ

同仁會地方醫局
醫學士　內田利藤次
プ、プルデンテ市

瀬ノ上商會
精米珈琲精撰　農產物
賣買及委託販賣
本店　ノロエステ線　ガララペス
郵函　五〇番
電話　一二番
精米場　ノロ線　グワラサイ町

りん病特効藥
『茶X』シヤシース
痳病なら急性でも慢性でも如何なる難病も本研究所の『シヤ、シース』で必ず全治します（藥價郵税共（一週間分十五ミルレース）
Lab. da Flora Brasileira do Dr. Mucci
Caixa Postal, 3410 S. PAULO
聖市ブレヂオ、マルチネリ十一階、一一二七號室

料亭　千鳥
ピネイロス　フエル
ナンヂアス　五二
（女給さん數名入用）

北大醫學士
今田求
診察時間　午前九時ヨリ午後五時マデ
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三

法律、飜譯、呼寄、歸化諸願書
辯護士公証飜譯人
座喜味盛德
聖市カルモ街一八番五階
七三ー七五號室
電話二ー四三五八番
郵函　三七三〇番

淺倉齒科院
●毎日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
聖市グローリア街三五二
電話二ー六八四八
Rua da Gloria 352
S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

Redacção e Administração
Rua Pires da Motta, 381 S.Paulo
Te 1.7-1614

NAMBEI SHIMPO
Director J. V. França Proprietario Paulo Iquenaga

S. Paulo, 10 de Fevereiro de 1938

繞る瓦解の人々

瓦解か？建設か？

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

三五 懐のピストル

秋とはいへどもまだ七月暑さも去らずそれに夜も早く更ける、お花は衣類を着かえたが、この時ヒユースケンからかたみとしてゆづられたピストルをふところに忍ばせた、土井定次郎は向島の秋葉神社のかたはらに潜伏する三島三郎を捕縛すれば大した手柄、そこでお花を案内として濱町河岸をあとにして向島を指して行く

定『向島までおひろいで出かけるのは大儀だ、舟で行くことにしやう』

とこれから柳橋へ來て伊豆屋といふ舟宿から屋根舟を一艘仕立て、これに乗つて隅田川をさかのぼるやがて舟は三圍の堤の下まで來た

定『船頭そこへ着けてくれそのへんにね』

船『足場が悪ふございますから、御氣をつけなさいまし』

定『心得た、成程こゝは足場が悪いな』

ヒラリと船から飛び上り

定『お花、それこれへつかまつて上れ』

定次郎が出した脇差、それをおさへてお花は褄を取つて上つたが

花『兄さん、氣味が悪いねこの三圍の下には主がゐるさうだよ』

定『河童でも居るかな、オイ船頭舟賃は濟んでゐるンだ、これはお前の酒代だ』

船『有難うございます、氣をつけておいでなさいまし』

船頭は舟を戻す、定次郎はお花をつれて立つて土手へ上つた、川を越えて左は今戸に橋場、待乳山がうつすりと見えて、聖天の森からチラ／＼灯がさす、右は三圍神社ガア／＼／＼と田圃に蛙が啼いてゐる

定『滅法寒いな』

花『何だか氣味が悪くなつて來たよ』

定『こんな人通りのねえ所で追剝が出たところで稼業にはなるめえ、時にお花むかふへ行つたら何とかうめえことをいつて三島を呼び出して呉れ、またその時は刀や脇差を取り上げて置いてくれ』

花『さうだね、しかし兄さん、三島さんを助けてくれることは出來ないの、知つての通り私のためには大事な人、お前のためには義理ある弟、お前さんだとて人情は知つてゐるだらう、助けて下さいよ』

定『またしてもそんなことをいふ、お前とは兄妹の縁が切れてゐるんだ、して見れば三島と俺は何の縁故もなからう、おれが彼奴を縛り上げて町奉行所に突き出せば出世が出來るンだ、目の前に出世の綱がありながらそいつを見のがすことは出來なからう』

花『それでは何うしても助けてくれることは出來ないの』

定『くどいことをいふな、俺は徳川家の直參だ、徳川家の害になる奴はたとへ蟲でも助けておくことは出來ねえ』

花『それはお前さんのいふことも最もだが、三島さんに縄をかけては女の道が立つまいと思ふが』

といつた、お花はふところへ手を入れてピストルをしつかり握つた、三圍も後にして白髯近く來たがこゝで堤をおりる、三島の潜伏してゐるところは秋葉神社のかたはら、松平新十郎の妾宅、今土手を下りやうとした時に定次郎は足を上げてポンとお花の内股を蹴つたおりやうとしたところを蹴られて、ズル／＼と体が延びる、同時に足が流れてバツタリ倒れた、この時定次郎はお花の腕をピッタリと押へ

定『ヤイお花ふところにしのばせてゐるものをこれへ出せ、とんでもねえ奴だ、エ、出さねえか』

ふところへ手を差し入れるお花は倒れた時にピストルを押へてゐた手を放した、定次郎はピストルをズルズルと引き出す、アレといつたお花はその手に齒を立てた、これで定次郎が、バラリとピストルを落した

婦人講座

四十二歳こそは世に現れる年

厄年とはこぢつけ

皆さん氣にせぬやう

およそ數の迷信位馬鹿々々しいものはありません、多くはつまらぬこぢつけが元でだん／＼ひろまつたもので何れも格別のよりどころのあるものではないから決してまどはされてはなりません

日本では四は死といふ音に通じてゐるから縁起がわるいといつて自動車の番號も飛行機の番號もつけませんし、病室なども四號室は見あたりません、けれども西洋では四は忍耐强いことを意味するといつてよろこんでゐます、六といふ數は『ろくでない』など、きらふ人がありますが、四程ではありません、ところが外國では一般にきらふ傾向があり、殊に勝負事をする人は、とても不吉な數としてゐるやうです、それは競馬で走るクヂを引きあてると**棄權**して出場しない騎手のゐるのでもわかります、野球で七回をラッキー、セブンといつて兩軍いづれか、幸運に見舞はれる回だと躍起になつて戰ひます。日本では九は苦だといつてきらひますが、西洋では九は繁榮の數となつてゐます。ですから何もくよ／＼しないで、九はもうぢき十になる、つまりもうすぐ出來上る數だと解すればむしろうれしくなるではありませんか

外國 人が十三といふ數をきらひますが、何んでもキリストの聖餐が十三人であり十三番目のイスカリオテが裏切つた爲めキリストが十字架にかけられ、その日がまた十三日だつたといふので不吉な數だといふ迷信をいだくやうになつたのです、また日本では、十九は重苦の音に通ふから不吉だといひ、女の年の三十三は慘々の音に通じ男の年の四十二は死にの音に通ふからいかんといひますが逆に一九は得な年で三十三は耳よりなことを聞く年四十二は世に出る年と考へたらむろん喜んでよいと思ひます。

菊の花びらを添へて

ム相へ感謝

岡山縣の小學生徒から

去る七日岡山市學務課宛に伊國大使館より『大日本小學校五年生稻垣菊太郎君ほか卅名より本國政府首班ムッソリーニ閣下あて誠意溢る、感謝狀を送附して來たがその文があまりにも純眞で眞劍なのに當大使をはじめ館員一同痛く感激殊に大使はぜひとも感謝の意を表したいといつてゐますが親書の封筒にはたゞ岡山の消印があるのみで一切不明につき何とぞ貴課の盡力によつて學校名を知らせていただきたい』といふ意味の手紙が到達したので、學務課では早速全市十五小學校について調査したところ九日午後にいたつて同市弘西小學校五年生十名學級稻垣菊太郎君ほか卅名であることが判明した

同君らがム首相に感謝の親書を送るにいたつた動機に次ぎのごとき美しき佳話が織込まれてゐる、即ち弘西校では支那事變勃發以來毎朝始業前に特定時間を設けて小川校長より皇軍の盡忠ぶりと銃後の奉公に關する美談あるひは國際情勢等について說話する一方新聞記事を掲示してゐたが十月十四日附の新聞紙で獨伊兩國巨頭會見の寫眞を掲示したところ、一千六百餘の童心を強く打つたが殊に尋常五年生の松酒昌平君は奉公の赤誠もだし難くム首相に對して感謝狀の發送方法を提唱忽ちこれに森末卓雄君ほか廿九名が贊成一同は歸宅してそれ／＼父兄の承認狀まで添へて十月十九日受持の杉田訓導に相談をもちかけ同廿一日共同親書を作成したものである市學務課では直にこの旨を大使館あて報告することになつた

原文 僕等が敬愛するムッソリーニ閣下、日本の新聞に閣下にヒットラー閣下とが仲よくならんでナチス黨組織部隊を査閲してゐられる勇ましい御寫眞が出ました、兩閣下が『日本を應援して下さること』を相談して下さつたあとで、この御寫眞をとられたのでと先生から聞きました（中略）御國から支那に來てゐられる大使の方や軍人さんが日本居留民の引あげを助けて下さつたのを聞いて條約はなくてもありがたい國だと早くからおもつてゐるのです、閣下に何か贈り物がしたいのですが僕等はまだ子供で差し上げるものがありませんから日本に今を盛りと咲いてゐる菊の花びらと僕らが擊劍してゐる寫眞を上げます、こんなにして心身を錬へた僕等は閣下の勇姿と、もに世界正義のためには傳統の武士道をあらはす決心です、閣下の國の多くの僕等と同じ年齡の友達にもこの決心を傳へて下さい（下略）

△

小川校長談 私の學校では事變勃發以來健全な第二國民を養成するためかねて特定時間を設けてわが軍の忠勇ぶりをはじめ、わが國をめぐる各國の情勢を知らせてをりましたが、先般新聞の記事について說話し、またそのニュースを掲示しましたところ、五年生の兒童卅一名が感激のあまりムツソリーニ首相に對して感謝狀を贈ると申出たのです、いさゝかなりとも國家のため御役に立てばこれに越した名譽と感激はございません

【岡山】

出征皇軍勇士から慰問文に對し禮狀

拜啓

御鄭重なる御慰文を頂きました幾千里離れたる皆々樣の御厚志幾重にも御禮申上げます。皆々樣の御熱誠の御援助に依りまして皇軍は益々士氣が昂り正義の爲に膺懲する筈は支那全土に渡り汗と血を以て祖國の爲に微力乍ら大いに努力をして居ります故に皆々樣には海外御發展を益々盛んならせられる樣遙かに戰地より御祈りして居ります。毎日の樣にニュース等で御存じのことではありませうが陸海軍の共同作戰に依りまして戰況を進めて行くのでありまして私は海軍の方でありますそうして軍艦旗の下に休みの暇も大して無く、支那戰線に或時は陸軍の兵士を敵前上陸の爲に掩護射擊に天地も破れよと打ち出す大砲に或は敵飛行機の射落しに又は支那軍艦を沈沒に晝夜でやつて居ります。

△

次に先日敵前上陸の模樣を一寸御通知致しませう。（地名省略）〇月〇〇日月明を利用して午前二時河の流れのはやさ三節もある樣な地點にて陸岸との距離二千メートル位の我艦より數十名乘りの機動艇にて上陸するのです。陸軍と同じく私達も陸戰隊として機關銃を唯一の武器として各自は元氣に親より、姉妹より、知人より、否愛人より頂いたのか彈よけを腹巻に武運長久の御守りを胸に陸岸目懸げて車掛の戰法で行きましたが、雁亂るれば伏兵ありと源義家が申しましたがその時は雁處かネコの子一匹も居らず、注意して行きましたが敵は沈默して居りまして、我方は一氣に陸岸にボートを乘り上げて膝位の處に飛び込みました。所がその時敵は機關銃にて火を噴く樣に其距離百メートル位伏せの姿勢となるにも不可ボートは歸つて居らず（尤も歸るのではありません）進めば彈丸で其時の僕等の氣持を御察し下さい、遮二無二前進致しました。敵は用意のあつた如くに深く壕を作り首位の深さの所もあるのです。我陸兵は十貫位の品を背にしてをり、私等味方も彈を射つ事すら首迄の深さで叶はず、先に進めば深くなるやの……泳ぐにも武裝してをり、やつとの事で前進しましたが、幸ひにして陸に着いた其時の戰死十五名、三名行方不明（之は彈にあたり河流れとなりしもの）敵は五百名位の少數なれ共訓練の出來た兵でした。

△

それから手榴彈により敵を追ひ散らして味方の陣地を作りましたが其時は日本刀の切味を實に感謝致しました、胸の邊まで切り込める樣はまるで大根を切る樣にも思ひました、敵は死體半死人を百名以上も殘して逃げて行つてしまひましたのは朝の七時頃でした、到る所死屍累々として敗れた哀れさは實に氣の毒にもあり愉快でもありました、戰ひは止んで濡れた服を乾かしますのに褌一つになり濡れたビスケット（味の無い）をかじりながら寢てをりました、敵は逃げながら良民の家を焼き拂ひ到る所炎々として居るのを只望觀するのみ、陸軍は前進に我方に上陸がすみましたので、艦に歸りました。

△

千人針は持つてはをりませんでしたが、かすり傷一つもありませんでした。皆樣のお蔭です、午後になれば敵飛行機の襲來三千米位の上空より我に爆彈の御見舞を百五十米位の水煙と共に黑煙が舞ひ上り敵は下手ながらも五百米も前方に落して逃げて行きました、時としては又五百米低空飛行で來まして青天白日旗も現れ癪に障るたらありませんでした。然し其時二機は見事に火を噴きながら、水中に小氣味良く墜落、それからは毎日一機二機と射落されました、三百米位上空を來ますが一向當りません、その時は米國商船がやられましたが無抵抗の船は實に氣の毒でした。さん／＼なものでしたが支那機も三機編隊で十二機と思ひました『カーチス』機とか『ボーイング』『ノースロップ』と云ふ優れた飛行機で全部外國製ですが皆さんも何とお思ひになりませう？………只今は支那は我に攻め立てられて空襲の暇もないと見へて一向に來襲しません以上の樣な拙書にて御分りになり兼ねるかも存じませんが何れ又御緣がありましたら[illegible]通知致します。

肥り過ぎ、痩せ過ぎの調節心のま、

御飯のかみ方一つで

何んとかして肥りたい、何んとかしてやせたいと日々夜々焦慮してゐらつしやる御婦人方に、やせるふとるの調節法、即ち自身のつり合ひを保つ**極簡單な方法**を御紹介いたしませう、それはフレッチャーのそしやく法と呼ばれてゐるもので彼が四十歳の頃過度の肥滿體のために保險加入を拒絕せられあはてふためいた結果、グラッドストーンが子供におしへて一口の食物をかならず三十六回かめといつた話にヒントを得て苦心創案したのがこの法でこの結果彼は實行以來四ケ月足らずで六貫も體重が減つたそして、たべてゐる間はほかの事を考へないでかむ事ばかりに考へを向け、口でもかみ頭でもかむといふ風にするのです、方法はきはめて簡單なのですが、いまこの方法を榮養學的立場から考へて見ますと食物をよくそしやくすれば常々二千カロリーもの食物を必要としてゐるのに、その場合は僅々千五百カロリー程度で既に滿腹感をおぼえるので、食物に無駄がすこしもなく、きはめて能率的な榮養素をとる事が出來、且つ過剩な食物をとらないですみますから、理論的にも自然とふとつた方はやせ、また反對に消化不良であつたのがそしやくによつて良好となり**食物が完全に**自分のものとなり、必要なだけの脂肪が沈着する樣になりますのでやせた人はふとる樣になるといはれてゐます、やせすぎ、ふとりすぎに惱んでゐる方々よ！たつた只今から實行してごらんなさい御幸福な結果が得られる事と存じます。

私達の常識

太陽に住む病氣を治す神

神話の信念から現代科學へ

山か海岸か

紫外線の多い場所としては雪面や水面が第一です、といふのは雪面ではほとんど百パーセント、水面でも九十パーセント反射するからです、この他山岳は多いといはれてゐますが、これは太陽に近いのと空氣がすんでゐるから當り前の事ですが、實際には雲が始終かゝりますから全體の量では海岸の方がずつと多量です

體格——次に紫外線浴するにあたつては充分自分の體力をはかつて絕對に過度に及ばない事が必要です、初めから急激にかけると皮膚に炎症をおこし恐ろしい結果となります

大古の記錄

太陽光線が醫療上効果があるといふ事は隨分昔から言はれてゐます遠くローマ時代には太陽室を設けて虛弱者に日光浴をさせた記錄があり、又ギリシヤの神話には太陽の中に病氣をなほす神が居て、その神が反射する光は保健上有效であると信ぜられてゐました、その後近世になつて千百七十四年、ファウルといふ人がはじめて日光線で傷、潰瘍等の外科的治療を始めてから次第に光線療法が重んぜられ千七百七十六年にはラッバイヤーがやはり外科的知療に使用してをります

科學に登場

千八百十五年になつてカービンが腺病質、せむし、壞血症、筋肉薄弱等に有效である事を喧傳してから、いよ／＼光線療法の畫期的な時期に入りました

その後ハージエルが日光線中に紫外線があることを發見し、それが醫療上必須のものである事を云ひだしましたが、この紫外線を人工的に作つて醫療の役に立てたのはフユーゼンの人工太陽燈の發明後、バームがそれを用ひてせむし病に好成績を上げたのにはじまります、これは實に千八百九十年の事です

『打倒英國の歌』

五來博士の作

國際反共聯盟評議員五來欣造博士はこのほど左の如き打倒英國の歌を作つた（四百余州を擧るの譜）

（一）印度搾取にうめき
支那詐僞になやむ
聞けや人の子が
天地に嘆く聲

（二）西にイタリヤ怒り
東に日本起つ
おのれ吸血鬼
打倒さで置くべきか

（三）誇る紳士の假面
はぎ取りや僞善國
拔けやこの劍
振へや破邪の劍

（四）見かけ倒しの國よ
そろばん珠の民
鉄のこの拳
喰はせりや一すくみ

（五）西に月影落ちて
東に日は昇る
植えよ櫻花
世界の隅々に

感激の編輯室

二月七日（月）朝來どんよりとして雨雲低く垂れて微風だになく、ラジオから流れる輕いリズムのムジカさへ何んとなく鬱陶しさを感ずる折柄、突如、編輯室入口のドアをたゝいた青年一人、見るから質朴な田舍出市內の地理不案內とあつて末廣旅館主の親切で社まで道案內をされたとある。

▽……△

兎角青年客には緣の多い吾が社の編輯室、大概の場合お目にかゝつたゞけで、まだ用件を語り出さぬうちに『ハハア、この仁は何の用件で來訪されたか？』の判斷はつくもので、それが滅多に外れつこはない。

▽……△

斯うした若人の來訪を受けて、それがマジメな人であれば有るほど、たとひ編輯や事務に忙殺されて居やうと、時の移るを忘れ爲めに事務の澁滯を來しても決して後で悔無いのが常である殊に吾社の主筆と來たら丁度肉親の息子か弟に對する如く心から歡談し、激勵するさまはハタの眼にも愉快の限りである。

▽……△

處で此の日訪れた青年ばかりは吾々が想ひもよらぬ遠來の珍客であつた、そして語り出す木訥の言葉は斯うであつた。

私はアララクアラのサンターナ耕地に働いてゐる宮城縣生れ本年廿四歳になる〇〇〇と云ふ一農業勞働者で、かねて徵兵猶豫の恩典に浴して居るものですが、昨日アララクアラの町に出てホテルの上田さんから御紙を見せて貰ひ、直ぐ私の眼に映りましたのは『鮮血で認めた青年の書面』と云ふ記事でした。

▽……△

私は日本男兒として如何に祖國を遠く海外に移住して居るものとは云ひながら、現下の國難をヨソに見て安閑と暮らすことは到底良心が許しません、尤も在伯青年の從軍志願については種々異論も出て居るやうでありますが、自發的に報國の赤心抑へがたく自ら進んで歸國從軍を志す者に對し、親でも兄弟でもない他から何んだかだと別に文句を言はれる義理は少しもないと思ひます、此点今日まで御社の御配慮を深く感謝します、祖國の軍部からは一寸のことでは我々遠く海外に在る壯丁に歸國せよとは言ひますまい、否、そう言はないのが當り前です。

▽……△

だからと言つて、それをいい事にして親元の難儀苦勞を傍觀して安閑と過すことは出來ません、私は渡伯以來今日まで農業をして居ますが何分にも構成家族の關係上、貯蓄なんて云ふことは思つても出來ませんでした、ですから今日從軍のため歸國するにも直ちに旅費に苦しみますが、今後は今迄に倍して働き蓄めて何時でも敢然歸國して御奉公のできるやう心掛けたいと思ひます』と熱心に語つた此青年はアララクアラ驛前の邦人ホテル上田氏から本紙を示され其の脚で態々出聖し本社を訪れた事が判り、吾社員一同はその熱誠に唯々感激して居る。

まことに人間の誠意ほど美しく感動させるものはない本紙を示した上田氏にも共鳴感激があつたればこそと感謝に堪へない（編輯小僧）

前に本紙社說に掲載した日支事變と宗教家に對しパードレギド師から次の如き（要約）禮狀を戴きました、『貴紙に掲載された日支事變と宗教家の論說（菊譯）を拜見致したるに私に關し過分の讚辭を戴き、身に余る光榮と存じ貴下の御厚情に對しては御禮の申上樣も無之、衷心感謝致し居り候私は日本人の救靈事業並に聖フランシスコ學園の經營に就ては、之れは神の與へたる私の使命と存じ居り候につき私の働きは則ち當然主の僕としての義務に他ならずと存じ居り候云々』と、あれ程迄在伯邦人の爲めに盡して居られるギド師から斯樣な謙遜の言葉實に恐れ入りました（無文漢）

聖市料亭組合

（イロハ順）

富田家
コンセレイロフルタード 一三五
電話 二－六七六七

うめのや
コンデドピニヤール 一〇八
電話 二－八四三〇

富美の家
タバチンゲーラ 一二
電話 二－七三一

青柳
タバチンゲーラ 八
電話 二－一九四八

菊水
コンセレイロフルタード 一四二
電話 二－〇三四九

カーザ東山
ノロエステ總代理店
間崎三三一
プロミツソン
郵函 一六番
電話 五〇番

呼寄
專門
明穗事務所
（海興直ぐ上）
Rua Felipe de Oliveira 21
4 and. Sala 8
Telef. 2-3444 C. P. 1907
S. Paulo